

### 平29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	子どもの権利条約フォーラム 2017in 信州	
事業主体 (連絡先)	子どもの権利条約フォーラム 2017in 信州実行委員会 事務局：kodomonokenri.shinshuu@gmail.com	
事業区分	保険、医療、福祉の充実	
事業タイプ	ソフト事業	
総事業費	2,075,088 円 (うち支援金：	1,659,000 円)

#### 事業内容

- 子どもの権利条約フォーラムの開催  
12月2～3日茅野市において開催。のべ595名参加
- 実行委員会の開催  
フォーラムに向け10回の実行委員会を開催。信州こどもカフェの開催や発達障害、こどもの権利条約の勉強会を行う。
- 勉強会の開催  
・学校についての討論会、県の支援条例の勉強会、湯浅誠氏の貧困問題。のっぽさんと遊び場を開催した。
- 県内4地域でワークショップを開催。  
地域でこどもを見守るためのワークショップを東信、北信、中信、南信で開催した。



【フォーラムの様子】

#### 事業効果

- こども参加を促進し、大人と子どものパートナーシップによりフォーラムを開催することができた。
- フォーラム当日と、夏に実行委員会で「信州こどもカフェ」を開催。こどもの居場所の大切さを広く伝えることができた。
- 「長野県の未来を担う子どもの支援に関する条例」の勉強会を開催し、広く広めることに寄与した。
- フォーラムに向けての4回の勉強会や県内4ヶ所で行われたワークショップの開催で、県内各地の子ども支援に関わる団体・個人とネットワークを構築することができた。

- ①子どもの権利条約の普及・啓発
- ②「信州こどもカフェ」の普及啓発
- ③こども参加の促進
- ④県内のこども支援活動をしている団体・個人とのネットワークづくり。

#### 【目標・ねらい】

※自己評価【 A 】

【理由】ユース・子ども(25歳以下)が半分以上の参加となった。子ども応援プラットフォームとの連携により「信州こどもカフェ」を広く知ってもらうことができた

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今回広げることができたネットワークを活用し、引き続き子どもの権利条約の普及・啓発活動を行うとともに、子どもたちが安心して過ごせる「居場所」の普及や、地域で子どもたちを見守る体制づくりを目指していく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた  
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある